

医療従事者向け ピジョンセミナー

母子に寄り添う おっぱいケアと母乳相談

～産褥早期から授乳期における寄り添う支援～



母子に寄り添い支援するという深いケアは、ママと赤ちゃんを同時にアセスメントしていくことが大切です。乳房の構造とシンプルな仕組みを理解し、授乳～赤ちゃんの哺乳量の正しい知識や多くあるトラブルの事例も理解しましょう。また、授乳するママへ具体的な支援の方法と寄り添う支援に重要な役割となる聴くことは、妊婦健診、母乳相談で上手く言えない言葉にできないケースで、態度や表情からその訴えを出しているサインを見つけることに役立ちます。質問の声のかけ方、聴き方でママの心の奥にある言葉を引き出し、話しやすい環境と雰囲気を整え、母乳育児に自信が持てるよう促し、入院中、外来、訪問等の母乳指導や相談に役立てる学びをしましょう。

日時

2019年10月4日(金)

10:30～16:00(受付開始 10:00～)
※途中休憩あり

会場

広島

ワークピア広島4F
芙蓉

【アクセス】JR「広島」駅 徒歩約7分

参加費

3,800円(税込)

※参加費には資料等を含みます。
※昼食(お弁当と飲み物)を、ご用意しております。

対象

母乳哺育・授乳支援などに携わる専門家/助産師/看護師/
保健師/保育士/栄養士他、医療従事者 100名様先着順

※定員になり次第、応募受付を終了いたします。

内容

- 乳房の解剖学・乳汁分泌のしくみ
- 妊娠中のおっぱいケアは必要か?
- 産褥早期の支援
- 母乳不足感への対応
- 上手に飲めない赤ちゃんへの支援
- 上手に飲ませられない母親への支援
- 知っておきたい飲み方の個性
- 母乳育児中の母親の心を支える 他

※内容・順番は一部変更になる場合があります。

講師

高室 典子 先生

(助産院エ・ク・ボ 院長 / 天使大学大学院助産研究科教授)

プロフィール

札幌市出身。旭川医科大学研究系大学院修士課程修了(看護学修士)。大病院の脳外科に勤務し、「生」から「死」を見つめたく、北海道大学で助産を学ぶ。1994年に「助産院エ・ク・ボ」を開業。その人らしいお産を扱うとともに、年間400件以上の母乳相談をうけている。大手百貨店、小児科医院などでの母乳育児の相談業務のほか、中高生の「いのちの教育」講演活動など多数。天使大学大学院助産研究科教授も務め、母子に寄り添う人たちへの教育活動も熱心に行う。4人娘の母。(一社)北海道助産師会会長、(一社)北海道産前産後協会理事長。



お申し込み

2019年7月16日(火) 受付開始

お申し込み
方法

下記、ウェブサイト「ピジョン医療従事者向けサイト」の特設ページよりお申し込みください。
ウェブサイトはパソコンとスマートフォンに対応しています。

URL <https://ai.pigeon.co.jp/seminar/detail-19-takamuro.html>



セミナー全般に関するお問い合わせ先

ピジョンセミナー運営事務局(PBコンベンション)

TEL:090-8514-2556 e-mail:info@petitbreast.com